

シーボルトの江戸参府行紀行に見る 日本の自然の原風景

67回 細谷和海

細谷和海

まずはごあいさつ

第67回両国高校卒業・環境委員

経歴

1970年両国高校卒業

1970年両国高校卒業

京都大学農学部農産学系・大学院修了(農学博士)

京都府環境研究所環境研究室室長・中央水産研究所

鳥類生態研究室長・京都大学環境管理学助教授を経て、

現在 京都府

日本鳥類学会理事(元会長)

専門 鳥類学・保全生物学・シーボルト研究




シーボルトの江戸参府紀行に見る
日本の自然の原風景



Philipp Franz B. von Siebold (1796-1866)

日本の自然と言えば里山・里山に決まっています。ところが、日本の自然は
行き過ぎた開発によってとりかえしのつかない状態にまで追い込まれています。
私たちがこれ以上の自然破壊を食い止め、自然再生をはかるためにはいったい
どの時代にまで目を戻さなければならぬのでしょうか。そのヒントはシーボルトが
長崎から江戸(東京)まで旅行した時に見た日本の自然の原風景にこそあります。
さあ、今から200年前の日本にタイムスリップしてみましょう。

1826年に江戸・長崎を往復
シーボルトの旅行記



"Nippon" (1832)
「日本とその諸島および保護国蝦夷・南千島列島・
樺太・朝鮮・琉球諸島の記述集」 第2巻

今年はシーボルトの江戸参府200年の節目の年！



シーボルトが長く滞在した京都周辺

往時の淀川商人のなごりを感ぜさせる川魚店



シーボルトは琵琶湖産淡水魚を「錦市場」で入手したのかもしれない？

トキの模式標本



1826年3月26日

滋賀県大野にて剥製を購入

この標本が今ちょうど琵琶湖博物館に
里帰りしているところ！

オオサンショウウオの模式標本



Arak・アラック・阿刺吉酒

江戸参府の時にはコンブ
うばに小分けしてアラッ
クを漬けたと考えられる。



- ・イスラム圏の蒸留酒
- ・日本へは江戸時代に「タビヤ」から長崎に輸入
- ・原材料はナツメヤシ・ブドウ・米・サトウキビ
- ・アルコール濃度は10〜60%
- ・姫路産「あらき酒」は室津の清づりと関係？
- ・シーボルトは室で固定液を補充していなかったか？

当時、長崎から海外へ日本
のしょうゆを輸出するのに使
われていた。長崎県の波佐
見焼。

時計の針を逆戻りさせるためには証拠が必要なんだ！
自然再生を目指す公共事業における標本の重要性

Evidence-Based Policy

- ・政策決定が客観的な証拠に基づかなければならないこと
- ・エビデンスとして用いるデータの精度や採集方法が適切かどうかの検討が前提

証拠物としての標本：適切な収集が可能
Specimen & Locality を記載することが絶対条件



Pungliu kabane (Pungliu kabane) の
タイプ地の写真。Dにいいんです！



Pungliu kabane (Pungliu kabane) のタイプ地 (Taraia 1915)
京都府近郊の京都で最初に集った標本で、
1940年代に絶滅してしまった。京都府のシン
ボル種。

やっかいな問題発生

博物館の収蔵庫はどこも満杯！ どうするあふれる資料と標本？

標本管理に逆行する国の方針転換

改正博物館法(2023年施行)

- ・博物館資料の廃棄は例外的手段として明記され、慎重な手続きの下でのみ検討される。

改正の背景

・博物館資料の管理に関する基準が見直される。近年、全国の博物館で
収蔵庫不足が深刻化しており、資料の管理方法として「交換、譲渡、買収、
売却、廃棄等」を検討することが明文化。

一部修正(2026年3月31日)

・改正案を審議した文化審議会のワーキンググループやパブリックコメントで
「廃棄」を盛り込むことへの反対の声も多かった。そのため、廃棄につ
いて「他の手段を検討した上で、なおやむを得ないと思われるとき」などの
文言を加え、より慎重な対応を求めることにした。

シーボルトからのメッセージ

我々を知らずして日本の自然を語るべからず！

1. 日本の自然の美しさを再認識しよう！

2. 明確な保全目標の設定

3. 証拠に基づいた保全計画の立案：EBPM

4. 証拠としての標本を採集：保全分野の展開

5. ありあまる標本をどこで保管すべきか、みんなで
考えよう！ まずは廃校や空き家を買ってみよう。

6. 次代に伝えよう、日本の里地の自然環境を！

7. 200年前の日本の里地・里山にタイムスリップ
したければ、Leidenへ行ってみよう！

8. その前に現在、琵琶湖博物館で開催されている
特別企画展に行ってみよう。言葉が通じたトキが
里帰りしている、絶好のチャンスだ！



ほそや かずみ
細谷和海

まずはごあいさつ

第67回両国高校卒業・環境委員

経 歴

1951年小岩生まれ

小岩小学校・小岩第1中学卒業

1970年両国高校卒業

京都大学農学部水産学科卒・大学院修了(農学博士)

水産庁養殖研究所育種研究室室長・中央水産研究所

魚類生態研究室長・近畿大学環境管理学科教授を経て、

現在名誉教授

日本魚類学会理事(元会長)

専門:魚類学・保全生物学・シーボルト研究



近畿大学



日本魚類学会

シーボルトの江戸参府紀行に見る 日本の自然の原風景



Philipp Franz B. von Siebold (1796-1866)

日本の自然と言えば里地・里山に決まっています。ところが、日本の自然は行き過ぎた開発によってとりかえしのつかない状態にまで追い込まれています。私たちがこれ以上の自然破壊を食い止め、自然再生をはかるためにはいつたどの時代にまで針を戻さなければならないのでしょうか。そのヒントはシーボルトが長崎から江戸(東京)まで旅した時に見た日本の自然の原風景にこそあります。さあ、今から200年前の日本にタイムスリップしてみましょう。

今年はシーボルトの江戸参府200年の節目の年！

1826年に江戸・長崎を往復
シーボルトの旅行記



“Nippon” (1832)

「日本とその隣国および保護国蝦夷・南千島列島・
樺太・朝鮮・琉球諸島の記録集」 第2章

ケンペル画による江戸参府の様子



江戸参府紀行行程図

1826年2月15日出発、7月7日出島到着
江戸滞在は4月20-5月18日



江戸参府の途中で入手した動物たち

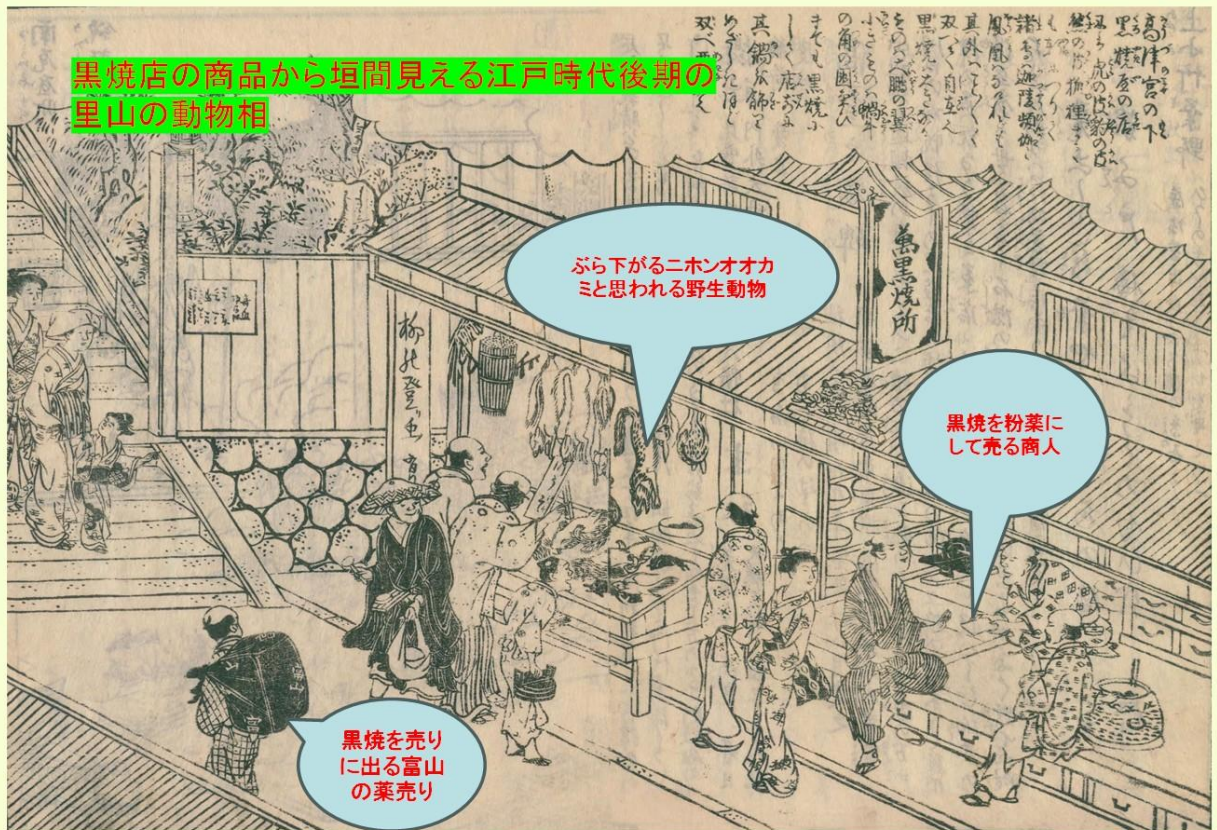
ニホンオオカミ模式標本



1826, 3. 13-17

大阪高津の黒焼屋にて購入

黒焼店の商品から垣間見える江戸時代後期の
里山の動物相



大阪・高津にあった黒焼所。（摂津名所図会大成 巻四下，1798）



最後まで残った「黒焼所」。浅草・伊藤「黒焼」。（2019. 9.7 撮影）

シーボルトが長く滞在した京都周辺

往時の淀魚商人のなごりを感じさせる川魚店



シーボルトは琵琶湖産淡水魚を「錦市場」で入手したのかもしれない？

トキの模式標本

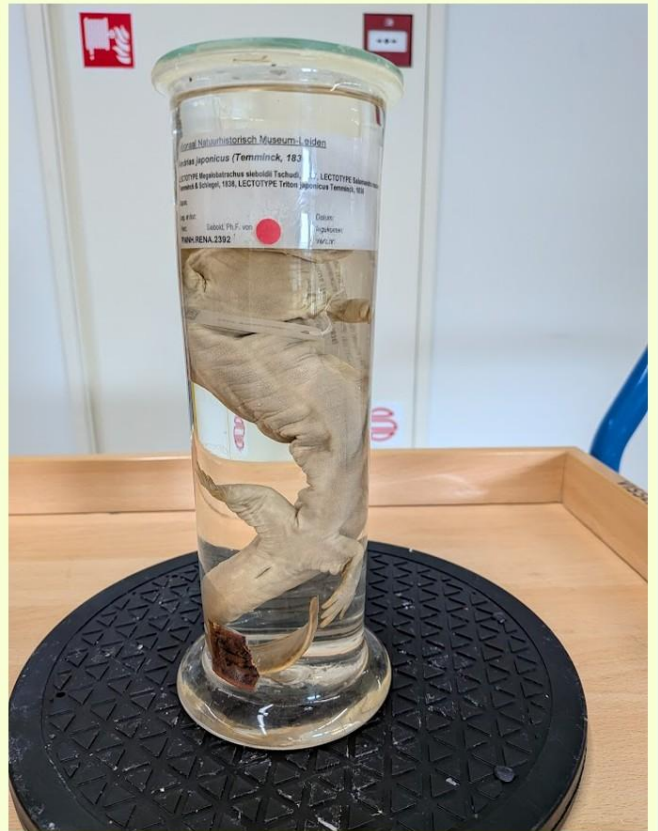
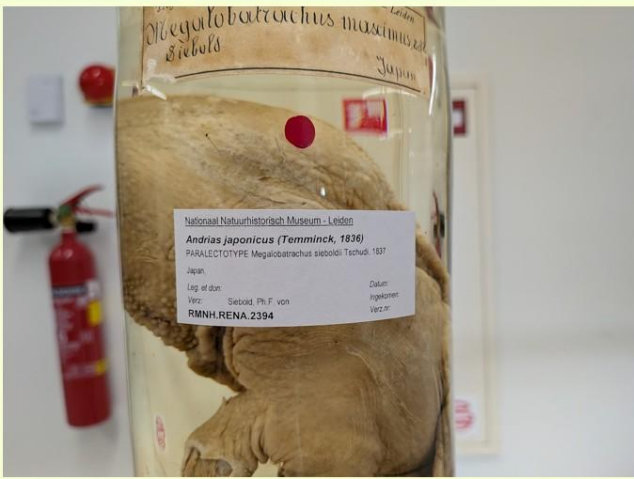


1826年3月26日

滋賀県大野にて剥製を購入

この標本が今ちょうど琵琶湖博物館に
里帰りしているところ！

オオサンショウウオの模式標本



シーボルトは魚類を何に漬け込んで液浸標本にしたのか？

Arak・アラック・阿刺吉酒

江戸参府の時にはコンブラ瓶に小分けしてアラックを運んだと考えられる。



図4-3 出島から出土した染付コンブラ瓶
長崎市出島復元整備室提供

- ・イスラム圏の蒸留酒
- ・日本へは江戸時代にバタビアから長崎に輸入
- ・原材料はナツメヤシ・ブドウ・米・サトウキビ
- ・アルコール濃度は10～60%
- ・姫路産「あらかき酒」は室津の酒づくりと関係？
- ・シーボルトは室で固定液を補充していなかったか？

当時、長崎から海外へ日本のしょうゆを輸出するのに使われていた。長崎県の波佐見焼。

時計の針を逆戻りさせるためには証拠が必要なんだ！ 自然再生を目指す公共事業における標本の重要性

Evidence-Based Policy (内閣官房行政改革推進委員会, 2017)

- ・政策決定が客観的な**証拠に基づき**なされること
- ・**エビデンス**として用いる際の精度や評価方法が適切かどうかの検討が前提



証拠物としての標本: 追試による再査が可能
Date と Locality を具備することが絶対条件



Pungitius kaibarae ミナミトミヨの
タイプ産地の現況。ひどいもんです！



Pungitius kaibarae のホロタイプ (Tanaka, 1915)
京都駅近くの芹田で最初に見つかった新種で、
1960年代に絶滅してしまった。湧水環境のシンボル種。

やっかいな問題発生

博物館の収蔵庫はどこも満杯！ どうするあふれる資料と標本？

標本管理に逆行する国の方針転換

改正博物館法(2023年施行)

- ・博物館資料の廃棄は例外的手段として明記され、慎重な手続きの下でのみ検討される。

改正の背景

- ・博物館資料の管理に関する基準が見直される。近年、全国の博物館で収蔵庫不足が深刻化しており、資料の管理方法として「交換、譲渡、貸与、返却、廃棄等」を検討することが明文化。

一部修正(2026年3月31日)

- ・改正案を審議した文化審議会のワーキンググループやパブリックコメントで「廃棄」を盛り込むことへの反対の声も多かった。そのため、廃棄について「他の手段を検討した上で、なおやむを得ないと認められるとき」などの文言を加え、より慎重な対応を求めることにした。

1. 日本の自然の美しさを再認識しよう！

3. 証拠に基づいた保全計画の立案:EBPM

4. 証拠としての標本を残そう:保全分類学の展開

5. ありあまる標本をどこで保管すべきか、みんなで考えよう！ まずは廃校や空き家を当ってみてくれ。

6. 次代に伝え残そう、日本の里地の自然環境を！

7. 200年前の日本の里地・里山にタイムスリップ したければ、Leidenへ行ってみよう！

8. その前に現在、琵琶湖博物館で開催されている特別企画展に行ってみるんだな。吾輩が採ったトキが里帰りしているので、絶好のチャンスだ！



海の科学館
海の子び

シー・ボルト江戸参府 200 周年記念展示
滋賀県立琵琶湖博物館 30 周年記念企画展示（第 34 回）

博物館はタイムマシン

- 魚類学者がみた琵琶湖 -

Museums are Time Machines
Lake Biwa as seen by Ichthyologists-

2026.7.18 SAT ▶ 11.23 MON
滋賀県立琵琶湖博物館 企画展示室

シー・ボルトが調査船で
収集した千の種名
（ナチュラリスム館蔵品センター提供）

琵琶湖の魚類研究に活用された
貴重な魚類標本コレクション

イサナ、アブノガイ、ヒワマス、フナ、コシロギス、ヤマメ、オニイトビウオ、サケ、アサギマダラ、カサゴ、シロギス、コクチマス、コイ、フナ、サケ、アサギマダラ、カサゴ、シロギス、コクチマス、コイ

滋賀県立
琵琶湖博物館

琵琶湖・淀川水系の国産魚（東経）

©2024 ナチュラリスム館

海の科学館
海の子び

滋賀県立琵琶湖博物館 50周年記念企画展「第13期」

博物館はタイムマシン

・魚類学者がみた琵琶湖・

Museums are Time Machines

Lake Biwako Museum Exhibition

2026.7.18 SAT ▶ 11.23 MON

滋賀県立琵琶湖博物館 企画展示室

うなぎの魚ガタン

ふし舟のタイムマシン

江戸時代

シーボルトに釣る
魚類研究史の
幕開け！

大正・昭和前期

見えてきた琵琶湖の魚たち。
明らかに異なる琵琶湖の
魚相図

令和

水車の琵琶湖へ出よう！
考えよう私たちの
こころごと

明治時代

湖魚争奪戦！新種発見。
世界から琵琶湖
へ熱視線

琵琶湖の魚の童画期。
魚たちに降りかかる
様々な試練

私たちが見えない
物語を今時代に
ご案内します！

司会 山田真由

同時開催

水族企画展示「シーボルトの江ノ参府と日本の淡水魚」

2026.7.18 SAT ▶ 11.23 MON

今から約200年前、ドイツ人医師シーボルトが江戸参府や日本海内に収集し、オランダ自然史博物館、初代館長テミクと二代目館長シェーラーが、新種記載した日本の淡水魚を生体で紹介しました。

国際シンポジウム

「シーボルト」×参府200周年記念

シーボルトコレクションからアズ

水辺環境の未来のために「記録」を残すこと

2026.10.24 SAT | 10:00 - 15:30 (予定)

展示内容や開館スケジュール、時間等に変更になることがあります。
必ず当館 WEB サイトで最新の情報を確認のうえ、ご来館ください。

琵琶湖の魚は、古くから世界中の研究者を魅了してきました。国内外の博物館には、約200年前にフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトが集めた標本をはじめ、新種記載の基となった貴重なコレクションが残されています。

私たちは過去の琵琶湖を見ることができませんが、標本は「その魚が確かにそこにいた」と証です。博物館は、過去へと導き、未来を考えるヒントをくれるタイムマシン。そこ、時空を超えて琵琶湖の魚をめぐる旅に出かけてみませんか。

■開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:00 まで)

■企画展示観覧料金

※企画展示室にご覧になるには、別途常設展示室の観覧券が必要です

往復乗車 / 小・中・高校生	170円	1,300円
大学生	470円	340円
一般（大人）	370円	210円

■常設展示観覧料金

往復乗車 / 小・中・高校生	無料	無料	年間観覧券	—
大学生	470円	340円	940円	—
一般（大人）	840円	670円	1,680円	—

※年間観覧券は購入後1年間、常設展示、企画展示を何回でもご利用いただけます（申込みが必要です）

※下記の方は観覧料金が免除です。

- 障害者の方（障害者手帳の提示が必要）
- 県民に該当する6歳以上の方（証明となるもの提示が必要）

■交通のご案内

- バスでは、京浜東北線口比内駅近隣バス停より、琵琶湖博物館行きのバスが、約25分
- タクシーでは、琵琶湖線、甲賀駅から約20分
- お車で、名神高速道路「栗原IC」から約10分〜一宮交差点南側第一湖沼通沿い、鳥居坂上（東側）から約25分（周辺に、から約70分（琵琶湖線、から約50分）

お問合せ 滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091

[TEL] 077-568-4811 (代表)

[FAX] 077-568-4850

<https://www.biwhaku.jp/>

滋賀県立
琵琶湖博物館
Lake Biwa Museum, July 2026